

投資家との交流こそ信頼の礎 外国為替取引の健全化に尽力する

● 国泰キャピタル(東京)

投資家との相互理解が重要

少ない資金で高い投資効率が期待できるとあって話題の外国為替証拠金取引。人気の資産運用だけに市場は拡大中だ。だがリターンに対してリスクも抱えるその商品性をいかに投資家に伝えるか。それが後回しになった投資家不在の営業という業界での現状もあるようだ。



潘 福平 社長

方と私たちの相互理解の上に成り立つもの。リターンとリスクの関係性をより分かりやすく理解できる場、また我々からの一方的な情報提供ではない、投資家同士での情報交換の場も提供していかなければなりません」
そう強調するのは株式会社国泰キャピタル(資本金八〇〇〇万円)の潘社長だ。業界団体「外国通貨取引業協会」に加盟する一社として、業界全体におけるモラルアップを牽引する企業という側面も有する。投資家保護を訴える潘社長の思いは強い。

楽しく学ぶデモコンテスト

二十四時間対応の相談受付や、投資セミナーの開催、またIT

を活用したデモ取引や投資家同士が情報交換できるサイト「為替広場」の運営など「投資家の顔が見える」(潘社長)業務展開を実践している。

なかでも投資家から好評だったのが六月に開催された「デモ取引コンテスト」。実際の取引と同じ状況下で架空の取引を行い、一カ月間の運用成績を競い合うイベントである。投資の玄人、素人の別なく多数が参加し、楽しみながら投資を学んだ。

一方で主催者としての意図は別のところにもある。実際の取引を始めた場合、売買のタイミングや投資の考え方次第で結果は大きく異なってくる。そのため、コンテスト形式で積極的に参加してもらうことで、仮想取引の体験を実際の取引に生かしてもらおうという狙いもある。



デモ取引コンテスト表彰式の様子

「特に評判だったのは表彰式が参加者たちの意見交換の場として機能したこと。投資のスタイル確立には体験者の生の声に勝るものはないですから」
押し付けの「自己責任」では投資家の納得は得られない。今後もしこうした啓蒙活動を積極的に推進していきたいという。(寧々)

(協力/国泰キャピタル)

日本の領土・日本の防衛

尖閣、竹島……領土を守ることを忘れていないか

10
2004 October
launched in 1887

中央公論

明日を読み解く

防衛問題座談会

不安定化する世界と新たな脅威

西元徹也 / 前原誠司 / 渡邊昭夫

国際法が試される尖閣の帰属

尾崎重義

アジア杯、中国の暴走を戒める

教室で「性」をどう教えるか

与那原 恵

素顔の黒澤明を語る

黒澤和子 × 是枝裕和

